

地域を知るふるさと体験学習

教科・領域 総合的な学習の時間

平生町立平生中学校全学年

キャリア教育の観点

地域の協力を得て、全校で取り組んでいる体験活動です。講座ごとのふれあいの中で、地域の方々や仲間との温かい人間関係を築き、その中で地域の一員である自覚と豊かな人間性を育むことをねらいとしています。

【人間関係形成・社会形成能力】【課題対応能力】

体験学習の概要

講座は学年ごとに各6講座開かれている。昨年度からの継続の講座が多いが、講師の方の高齢化などの理由により開くことができなくなることもあり、昨年度は新しく2講座が開講され、今年度もさらに2講座が新しく開講された。

各講座への生徒の割り振りは希望を原則としている。3年生の講座「一日保育士」では保育士になることを希望している生徒が多く参加しており、自分の将来の夢を考えて講座に参加する姿もみられた。

講師は地域で活動をしていらっしゃる方々が中心である。講座の実施にあたっては、町の老人クラブ、食生活改善推進協議会、青少年育成町民会議などの協力もあり、地域と学校が一体となつての活動となっている。新講座開講の際には地域コーディネーターの協力も得ている。

竹とんぼづくり
切り絵
水産加工
点訳
古墳・史跡めぐり
声の本

1年生講座

つつじ苑訪問
石焼きピザ教室
一人できる食事・おやつづくり
海洋生物
かかしづくり
はたおり

2年生講座

漁船体験
一日保育士
和太鼓
トールペイント
もちつき
そば打ち

3年生講座

当日の動き

当日は各講座とも午前中のみ活動である。活動場所が講座によって異なり、校外で行われる講座も多い。現地集合・現地解散が原則であり、生徒にとって日頃は訪れない地域であることも多く、地図で確認したり、近くに住む生徒に聞いたりする生徒もいた。

講座での活動は講師の指示のもと、それぞれが楽しみながら行っている。また、開講と閉講の式は生徒が司会進行を行っている。



考察・課題

本校の今年度の教育目標は”「ひらお」を愛し 心豊かに 生き抜いていく 生徒の育成”である。この活動を通して、生徒はふるさと「ひらお」をより深く知り、地域の方々に支えられていることを実感している。また、中学生も地域社会の一員であり、地域の方々から期待を寄せられていることも、体験活動を通して感じている。「ふるさと体験学習」はさまざまな面をもっているが、社会参画の素地となる”地域を愛する心”を育てる活動となっているのではないだろうか。

一方で、講師や教員主導の場面が多いのは今後の課題である。事前準備から生徒が多く関わることができるように充実した活動となるであろうし、キャリア教育の観点からさまざまな力を育てるものとなると考えられる。

全体計画との関連

本校では校訓「自主 勤労 親和」と学校教育目標”「ひらお」を愛し 心豊かに 生き抜いていく 生徒の育成”のもと、キャリア教育によって望む生徒像、キャリア教育の目標を以下のように掲げている。

キャリア教育によって望む生徒像

社会人として自立し、自分の夢や適性を踏まえた生き方を実現するための知恵と力を身につけようとする生徒

キャリア教育指導目標

- ・ 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- ・ 興味・関心に基づく勤労観・職業観の形成
- ・ 進路計画の立案と暫定的選択
- ・ 生き方や進路に関する現実的探索

これらを受け、「総合的な学習の時間・その他」の領域の中で、各教科・領域等における指導内容の一つとして「チャレンジワークの実践、ふるさと体験学習やひらおお助け隊の活動など、地域の中でのさまざまな体験を充実させる。」を挙げている。

この「ふるさと体験学習」は地域社会への参画や、地域の方々との人間関係づくりといった点で、キャリア教育に大きな役割を果たしている。